

講演要旨の書き方(ゴシックフォント14 pt 中央寄せ)

(1行あける)

立山太郎(立山大学)*・雷鳥二郎(ECOTECH(株)) (ゴシックフォント12 pt 中央寄せ)

*ecotech.res@gmail.com (Corresponding Author のメールアドレス, Times 10pt中央寄せ)

(1行開ける)

1. 緒言 (見出しはゴシック太字10 pt)

(本文は明朝・Times系 10pt 均等揃え) 講演要旨は本書式ファイルをご活用いただき、1ページに収まるようにご記入ください。学生が発表する場合、Corresponding Author(メールアドレス含む)は指導教員になるようにしてください。複数の指導教員を指定いただいてもかまいません。

(1行開ける)

2. 実験方法 (見出しはゴシック太字10 pt)

(本文は明朝・Times系 10pt 均等揃え) 引用文献は通し番号を附して、文末に文献リストを記載ください。本発表は未完成のものやこれまでの研究成果をまとめたものなど、特に内容に制約を設けませんが、過去の本要旨の著作権に抵触しないようにご注意ください。

なお、本要旨の著作権は著者に帰属するものとします。

(1行開ける)

3. 結果および考察 (見出しはゴシック太字10 pt)

(本文は明朝・Times系 10pt 均等揃え) 結果は図表などを含めて簡潔かつわかりやすく作成ください。

(1行開ける)

4. 結論

(本文は明朝・Times系 10pt 均等揃え) 結論や謝辞を記載される際には、本書式に準拠して記載ください。

引用文献

- (1) T. Tateyama, J. Raicho, *J. Ecotech. Res.*, **10**, 12-20 (20**)
- (2) 黒部次郎, エコテクノロジー研究, **9**, 22-25 (20**)
- (3) (引用文献は明朝・Times系 9pt程度 均等揃え) 引用文献は例に近いかたちで記載ください。